

宮城から、伝えたいこと。

Baton~

つながれ、どこまでも

バトン
VOL.
05

FROM MIYAGI

特集

3.11を 知らない世代 の伝承・防災

きて・みて

- 名取市震災復興伝承館
- 名取市震災メモリアル公園
- ゆりあげ港朝市／メイプル館



テーマ:

災と若い力

machico防災部といっしょ: 防災ボーチをつくろう

あしたのクリエイティブ: 東北大学大学院・成田さんの避難誘導アドバルーン

バトンとは

世代や地域を越えて広く「伝える」、リレーのバトンのように「つなげていく」という意味を込めています。
県内外や幅広い世代の方々が復興・伝承に興味を持ち、被災地へ足を運んでいただくことを目的に発行しています。

当時まだ幼かった子どもたちは、高校生となりました。
3・11の記憶が残る、最も若い世代です。

被災の実情や復興へのあゆみ、震災後に改めて気づかされた地域の魅力を語るその姿には、
記憶と教訓を次世代へと受け継ごうとする確かな意志を感じられます。



3.11を知らない世代の伝承・防災

震災の伝承は、それを経験した者だけが背負うものではありません。もしその責務を負うのが、あるいはそれを許されるのが経験者だけならば、伝承はいつか途絶えてしまうでしょう。大きな混乱と喪失に打ちひしがれたあの日から12年。震災の記憶や防災意識が希薄になってきたといわれるなか、当時まだ幼かった若い世代が行動を起こし、県内各地で小さくとも力強いうねりを生んでいます。

多賀城高校災害科学科の生徒たちは、とうに道路や橋のインフラが修復され、津波の痕跡も消えつつあるまちで、150もの津波波高標識を設置し、そこで何が起きたのか、自らが「習得した記憶」を自分の言葉で語り継いでいます。それは〈災害〉を〈科学〉してさまざまな分野にはばたく

生徒たちの、強力な基盤にもなっています。

石巻市では、地域の「ない」を「ある」にかえる経験が可能性を広げる、高校生の地域魅力発見・発信プロジェクトが進行中です。主役の高校生たちは、活動を続けるなかで震災の記憶に出会って向き合うことで、地域に潜む魅力を知ることになりました。

いずれも震災当時は3歳から5歳。見聞きしたことや言葉にするすべも知らず、断片的な記憶を抱えて成長してきました。被災経験者の最後の世代です。大人たちは異なる視点、異なるアプローチで3月11日の出来事に触れながら、「自分ごと」とした伝承を体現しています。

特筆すべきは、そこで生まれたものが、震災とは直接関係のない現場でも生かされ、思いがけないインパクトを与えるだということ。そんな広がりが、また新たな可能性を生み、からの伝承・防災を底支えしていきます。



「右」発掘した商品のことをよく知り、作られた背景まで理解することで、自信をもって販売できます。左)商品発掘のためのインタビュー、企業のみさんは、高校生を温かく迎え入れ、自慢の商品について熱く語ってくれました。



実際に販売するときには、商品の概要、生産者の想い、その背景、感想などをお客様に伝えなければなりません。初年度の高校生バイヤーたちは、40社にインタビューを行い、自分なりの売り口上を取りまとめて、仙台・大阪で開催した「百貨店」に臨みました。「販売会では、いま、石巻はどうなの?」、石巻にボランティアに行つたことがあるよ、などと、お客様との会話が弾み、おひとりでたくさんの方を商品を買ってくれる方など



ロゴマークは、高校生がよく使う手紙の形がモチーフ。生産者の“想い”を魅力ある商品とともに伝えることをイメージ。高校生たちが審査しました。

問候語も会員会技術由

地元の魅力を発信!
『高校生百貨店』の展開

現在のメインプロジェクトは、2015年から始めた「高校生百貨店」。キャラクチフレーズは、「遠く」を「近く」にするお店。ロゴマークとともに、これも高校生のアイデアによるものです。

もいらっしゃって、みんなテンションショーンが上がりました。販売会終了後も、商品を出展された企業に対し、直接取り寄せ依頼が来るなどの反響があり、企業も大きな手ごたえを感じてくれています。盛岡、郡山東京など開催地も年々拡大し、リピーターも増えました。高校生はさまざまの人とのやりとりを通して地域の復興や越谷について考える機会を得て、蓄えた知識を外部に伝える力

レゼン能力が確実に身につけています。最近では、石巻は震災で傷ついただけのまちはない、震災の経験も現在もまるごと受け止めてもらつて、石巻の新しいイメージを作りたいという自負も感じられるようになりました」。

計なども要望があれば応える
しくみができます。
「このところ全国各地の高校
生や運営側から「高校生「百貨
店」をやるにはどうしたらよ
いかという問合せが来ていま
す。振り返ればカフェのスタ
ートから10年。私たち運営側
はこれまでのノウハウをまと
めて他地域の団体に広める活
動に取り掛かりたいと考えて
います」。

〈被災地の活動〉から「若者の
活動」へ。まさにシフトチエ
ンジが始まろうとしています



高校生百貨店の参加メンバーを今年も募集中。今回はエリアを拡大し、岩手県、福島県メンバーも募っています。



神澤さん、前回は建築関係、ソフト面を重視した空間づくりや人と人のつながりに推動したいという思いを持っていました

2012年から2018年まで営業した「高校生がつくる
」の株式会社「（かぶかーと）」

大好きな石巻のため カフェ運営で就労体験

「かぎかっこPROJECT」は石巻市で若者を対象とする育成事業を展開する特定非営利活動法人。母体は、震災直後に若年層の居場所づくりを進めた大阪のまちづくり団体の活動です。代表の神澤祐輔さんは2013年に石巻に移住しました。

「当時の石巻の高校生は被災から立ち上がるうと頑張る大人の姿を間近で見ていました。部活動もなくなつてモヤモヤしたまま、自分たちも地域のために何かしたいと考える子が多かつた。そこで、市役所1階に週末だけの「高校生がつくるいしのまきカフェー」(かぎかっこ)をオープンしました。店名も高校生のアイデア。かっこの中が空白なの

は、それぞれの個性を大事に
一つに決めつけずまつさらな
プランクから自分たちが作り
上げる可能性を意味します」
神澤さんをはじめ3人のフ
タッフが石巻に常駐するよう
になってから、カフェは通年
営業となり、約40人の高校生
が学校の枠を超えて毎日入れ
替わりながら運営に携わりま
した。商品開発・空間デザイ
ン・情報発信の3チームでロ
ークショップを重ねて、「五
巻を元気にする」をコンセプ
トに、企画・運営に積極的に
取り組み、2014年度には
グッドデザイン賞を受賞しま
した。高校生にとっては、部
活動でもアルバイトでも体験
できない就労体験のかたちと
して、さまざまな学びの場とし

地元プレゼンカの向上に
推進を通じて



地元商品の魅力を発信する「高校生百貨店」。
接客の訓練も受け、お客様とのやりとりを楽しむながら販売します。

石巻の魅力再発見に
つなげていきます



地元商品の魅力を発信する「高校生百貨店」。
接客の訓練も受け、お客様とのやりとりを楽しむながら販売します。

私は「プライバシー」を
最優先!



「避難所の混雑した中でも、自分の物やプライバシーをなるべく守れるようにしたいです。」

私は「衛生」を
最優先!



「普段から衛生面を気にするので、いろいろ拭けるように除菌シートを入れました。」

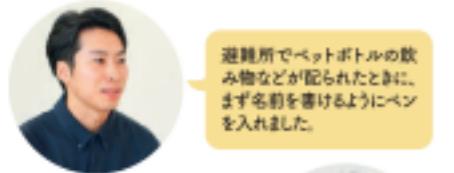
私は「快適」を
最優先!



「人が流れかかる避難所を想像すると、耳栓、簡易トイレはマスト。体を冷やすないようにプランケットも入れました。」



ボーヤンの防災ポーチ。
油性マジック/簡易トイレ/耳栓/コンパクトタオル/
簡易プランケット/災害用伝言ダイヤルガイド/災害備
蓄用ライト/胎2つ

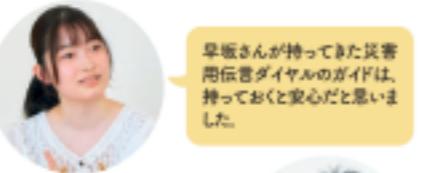


● 避難所でペットボトルの飲
み物などが配られたときに、
まず名前を書けるようにペン
を入れました。

● ペンを入れたのは素晴らしい
アイデアですね。私も畜生で、
配布された物に名前を書けば、衛生面も安心
ですね。



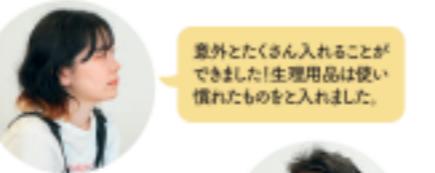
ほのりんの防災ポーチ。
除菌シート/簡易トイレ/耳栓/生理用ナプキン2個/
簡易プランケット/災害用伝言ダイヤルガイド/胎2つ



● 早坂さんが持ってきた災害
用伝言ダイヤルのガイドは、
持っておくと安心だと思います。



おすずの防災ポーチ。
簡易トイレ/耳栓/生理用ナプキン2個/コンパクトタオ
ル/簡易プランケット/災害備蓄用ライト/胎3つ



● 意外とたくさん入れることができました! 生理用品は使い
慣れたものをと入れました。

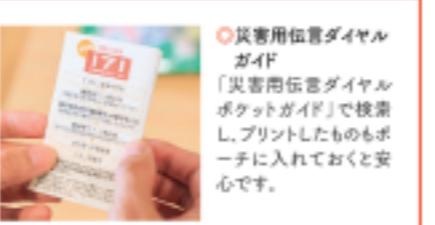


● 避難所の中は土足厳禁ですが、床で直接寝ることになるので、少し
でも埃や砂の飛散を防ぐためにスリッパを履くことを奨めています。
建物に閉じ込められたときなどに居場所を知らせたり、LEDライトも
装着されているタイプだと暗闇でも役立ちます。

● モバイルバッテリー 停電の際にもスマホを充電できる用意があると安心です。

● 鍵削り がれき等で足や手をケガすることもありますので、応急手当用に
何枚かあるといいでしょう。

これもあると安心!



● 災害用伝言ダイヤル
ガイド 「災害用伝言ダイヤル
ポケットガイド」で検索し、プリントしたものもポー
チに入れておくと安心です。



今回のテーマ

防災ポーチをつくろう

いつどこで災害に遭うかわからない昨今。

そこで注目されているのは、日常的に持ち歩く「防災ポーチ」。今日は、machico防災部と学生団体COLORweb学生編集部が、自分の防災ポーチづくりを体験しました。

すべて100円ショップで揃えられます!

(COLORweb学生編集部は、学生日報で仙台・宮城の情報を発信する学生団体です)
協力/DNSO 半店舗によって品揃えが異なり、在庫がない場合がございます。

早坂（以下①）：防災グッズは
自宅に備えていますか？
ほのりん（以下②）：私は一
人暮らしなのですが、きちんと
備えていないですね。

おさず（以下③）：揃えるもの
のが多すぎて、何を優先してお
けばいいか、迷います。

ボーヤン（以下④）：外出中に
に被災する可能性も考えると、
どこにどういう備えをしてお
けばいいか、迷います。

● そうですね。備蓄って場所
を取りますし、重い防災リュック
を学校や会社に毎日持つて
いくのも現実的ではないですよ
ね。そこで、必要最低限のもの
を毎日使うカバンに入れておこ
うというのが「防災ポーチ」です。
今日は、通学や通勤中に被災
し、避難所で「晚過ごす場合」
を想定して、自分に必要なア
イテムを考えてみましょう。

● リアリティがあります。
● タ方には災害が起きて停電
になり、真っ暗な夜道を移動
することを想定したとき、「防
災用のライト」があれば、周
囲を照らせるのはもちろん、
自分の居場所を知らせること
もできますし、人や車の誘導
にも使えます。

● タ方には災害が起きて停電
になり、真っ暗な夜道を移動
することを想定したとき、「防
災用のライト」があれば、周
囲を照らせるのはもちろん、
自分の居場所を知らせること
もできますし、人や車の誘導
にも使えます。

● 夏は、ハンディタイプの
充電式扇風機をフルに充電し
ておき持つておくと安心です。
冬は、簡易プランケットを持
っていると重宝します。体温
の低下を防ぐのはもちろん、
防水になります。

● 避難所では十分に備蓄が
あるイメージですが、個
人で用意しておくといいもの
はどんなものですか？

品があるイメージですが、個
人から借りることがで
きない眼鏡やコンタクトレン
ズ、歯ブラシやマウスウォツ
シユなどもあるといいですね。
女性の場合は生理用品を各自
で準備しておくと安心です。

● 避難所に辿り着けば備蓄
の見直しが必要ですね。

● 衣替えと同じように
の中身を見直すことで期限切
れにも対応できます。いちば
んは、楽しみながら用意するこ
と。今日用意したアイテムはす
べて100円ショップで購入
できるので、自分に必要なも
のを想像し、あなたなりのボ
ーイチをつくるみてください。

● 衣替えと同じように
の中身を見直すことで期限切
れにも対応できます。いちば
んは、楽しみながら用意するこ
と。今日用意したアイテムはす
べて100円ショップで購入
できるので、自分に必要なも
のを想像し、あなたなりのボ
ーイチをつくるみてください。

WHY'S machico防災部とは

仙台・宮城の人とまちを元気にする地域コミュニティサイト
「せんだいタウン情報machico」の編集部員が、
防災・減災に役立つスキルを体験して発信する「部活動」です。

machicoから
アーカイブが
見られます



防災グッズは備えるだけではなく、いざという時にすぐに正しく使えるようにしておきたいもの。そこで、前ページの「mac」の使い方と一緒に確認しましょう。

防災グッズ

使い方・活用方法を知ろう

レクチャー／仙台市防災・減災アドバイザー 早坂 政人さん
協力／DAISO ※店舗によって品揃えが異なり、在庫がない場合がございます。

各グッズの詳しい使い方は動画でも解説しています。
vol.5の動画をご覧ください。



4

コンパクトタオル

大きさ3cm程度のタブレット型で、水をかけると膨らむタオル。コンパクトに持ち歩くことができ、少量の水で膨らむので体を拭いたり周囲を拭いたりする際にも重宝。



3

簡易ブランケット

アルミブランケット、アルミシートなどと表記されていることも。薄手でコンパクトですが保温性に優れ、かつ防水になります。広げると畳1畳分ほどの大きさ。



ペットボトルなどのキャップ2杯分の水をかけると、瞬時に広がりタオルに。（※商品のサイズにより必要な水の量は異なります）



ワッフルタイプの生地は、薄手ですがしっかりしていて柔らか。この商品はMサイズで大きさはおぼしろ程度。

こちらもチェック

自分に必要なもの、まだ持っていないものをチェックして、備えてみてはいかがでしょうか。

防災ポーチの内容物候補一覧

- 食料(飴、栄養補助食品、お菓子、乾食など)
- 飲料水
- 雨具／ポンチョ
- 不織布パンツ
- 圧縮ソックス
- コンパクトタオル
- 冷感タオル
- ハンディ扇風機
- ブランケット／保温アルミシート／寝袋
- 使い捨てカゴ
- ソーイングセット
- アイマスク
- 耳せん
- 歯磨きセット／歯磨きシート／マウスウォッシュ
- ボディシート
- 簡易トイレ
- ポケットティッシュ
- ウェットティッシュ
- ビニール袋／ポリ袋／ジッパー付き袋
- スリッパ／サンダル

その他の防災用品

- | | |
|---|--|
| 家具の転倒防止などに | お料理に |
| <input type="checkbox"/> 純創膏 | <input type="checkbox"/> 飯ごう(メスティン) |
| <input type="checkbox"/> 綿棒 | <input type="checkbox"/> 固形燃料 |
| <input type="checkbox"/> くっつく包帯 | |
| <input type="checkbox"/> 三角巾／バンダナ | |
| <input type="checkbox"/> マスク | |
| <input type="checkbox"/> セッケン／紙セッケン | |
| <input type="checkbox"/> 消毒液 | |
| <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー／コード | |
| <input type="checkbox"/> 電池 | |
| <input type="checkbox"/> ヘッドライト | |
| <input type="checkbox"/> ライト付きホイッスル | |
| <input type="checkbox"/> 防犯ブザー | |
| <input type="checkbox"/> アイマスク | |
| <input type="checkbox"/> 方位磁石 | |
| <input type="checkbox"/> 軍手／ゴム手袋 | |
| <input type="checkbox"/> 万能ナイフ／マルチツールプレート | |
| <input type="checkbox"/> はさみ／カッター | |
| <input type="checkbox"/> 布テープ | |
| <input type="checkbox"/> 油性ペン／筆記用具 | |
| <input type="checkbox"/> メモ用紙／ポストイット | |
| <input type="checkbox"/> ポーチ／ポシェット／ドリンクボトル | |
| 照明に | 非常持ち出し袋に(ポーチとの重複のぞく) |
| <input type="checkbox"/> ランタン | <input type="checkbox"/> ラップ |
| <input type="checkbox"/> ケミカルライト(サイリウム) | <input type="checkbox"/> アルミシート／レジャーシート(厚手) |
| <input type="checkbox"/> 方位磁石 | <input type="checkbox"/> 給水袋 |
| <input type="checkbox"/> 蓄光シール | <input type="checkbox"/> サンシェード／簡易テント |
| 寒さ対策に | <input type="checkbox"/> 黒ごみ袋／不透明ポンチョ(着替えの目隠し) |
| <input type="checkbox"/> 下着／靴下／手袋／ネックウォーマーなど | <input type="checkbox"/> 電池チェンジャー |
| <input type="checkbox"/> はさみ／カッター | <input type="checkbox"/> まくら |
| <input type="checkbox"/> 布テープ | <input type="checkbox"/> 絵本／おもちゃ／トランプ／オセロなど |
| <input type="checkbox"/> 窓ガラス断熱シート | |
| その他 | |
| <input type="checkbox"/> 「アウトドア用品」「トラベル用品」売り場は防災用品の宝庫 | <input type="checkbox"/> 非常持ち出し袋／レジャー用防水バック |
| その他「食品」「衣料品」「衛生用品」「電気用品」「インテリア」売り場もチェック | <input type="checkbox"/> 衣類・寝具圧縮袋 |



詳しい情報はこちらもご参考ください→仙台市防災・減災アドバイザー室

<https://www.city.sendai.jp/gensaisuishin/kurashi/anzen/saigaitaisaku/sonaete/adviser/>

撮影したり
切り取ったりして
ご活用ください

↓

ご活用ください

災害備蓄用ライト／光る棒

使用時は、パキッと音がするまで折るように力を入れると発光します。防災グッズのほか、パーティグッズのペンライトでもOK。



フック状になっているため、両手がふさがっている際はポケットやカバンに引っ掛けて使うことができます。（※発光時間は商品により異なります）

水を入れたペットボトルに入れるとランタンの代わりにも。小さいお子様がいるご家庭では、ボトルをシールで飾るなどすれば楽しい雰囲気に。

「アウトドア用品」「トラベル用品」売り場は防災用品の宝庫

その他「食品」「衣料品」「衛生用品」「電気用品」「インテリア」売り場もチェック

携帯ミニトイレ／簡易トイレ

凝固剤がセットになっており、汚物を固めるという仕組み。ごみ袋も封入されているので、固形のごみにして処理できます。断水時でトイレが使用できない際の衛生管理に。



携帯ミニトイレの内容。白い筒状の袋にあらかじめ凝固剤が入っているので、そのまま直接用を足します。使用後は黒いごみ袋に入れて。

簡易トイレの内容。黒い大きな袋をトイレの便座や、バケツ、段ボールにセット。用を足し終えたら凝固剤を振りかけます。

きて in 名取市閑上みて

住民の約1割が津波の犠牲となつた名取市閑上。多重防御の考え方のもと、まちを現地再建した数少ない地区です。震災の記憶と復興の歩みを伝える施設を紹介します。

震災について知るだけではなく 防災・減災をリアルに学ぶ

名取川と貞山運河の交差点、防波堤と同じ高さ7メートルにかさ上げされたかつての住宅地に名取市震災復興伝承館があります。閑上育ちで職員の高野俊伸さんは、「まずは窓から景色を見て、ここがどんな場所であるかを感じてください。そして大きな津波に襲われたこと、まちは高台に移転することなく現地に再建されたことだけではなく、水害などでの水の脅威から命を守るためのポイントを学んでもらえたら」と語ります。

フロア中央を占めるのは、津波で失われたまちを再現したジオラマと大漁旗。防災・減災の展示も豊富です。感してください。そして大きな津波に襲われたこと、まちは高台に移転することなく現地に再建されたことだけではなく、水害などでの水の脅威から命を守るためのポイントを学んでもらえたら」と語ります。

施設① キーワード □津波被害を知る □証言を聞く
□アートを見る □避難を考える □復興を感じる

名取市震災復興伝承館



ジオラマは道路や家並みを精緻に再現。大漁旗は港町である閑上を象徴します。



水深30センチを体感できるコーナー。水圧がかかるところから、歩くだけ、ドアを開けるだけでも大変です。



伝承館の目の前には川と運河、運河対岸には海拔約1メートルの旧市街地が広がります。

DATA ◎宮城県名取市閑上東1丁目1-1 ☎022-393-6520 ☐9:30~16:30(4月~11月)、10:00~16:00(12月~3月) ☒毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館)、年末年始(12月29日~1月3日) ¥入館料無料 ☐10台(同敷地内に大型バス駐車可) ☐https://www.natori-denshoukan.jp/



東日本大震災の教訓を、さまざまな災害への対応に当てはめ、学ぶことができるのがこの施設の特徴。

問 水深30センチの水圧を知っていますか? ドアの開け閉めや靴を履いた歩行の疑似体験をして、行動がどう制限されるか実感しましょう。

施設② キーワード □環境を知る □祈りを捧げる
□アートを見る □散策する □まちを感じる

名取市震災 メモリアル公園



「亡き人を悼み 故郷を想う 故郷を愛する御靈よ 安らかに」と刻まれた「種の慰靈碑」



東日本大震災後、倒れていた石碑に昭和8年3月3日に発生した昭和三陸津波の被害と「地震があつたら津波の用心」という教訓が記されていた。

答

問 園内には1933年の三陸地震津波の震嘒記念碑があります。この碑について震災復興伝承館で調べてみましょう。

「芽生えの塔」は高さ8.4メートル。閑上地区における津波の高さを表しています。
閑上のランドマーク「日和山」と慰靈碑「芽生えの塔」を中心とした
「祈り」「憩い」「海を臨む」「日和山」「遺構と伝承」のゾーンから成る広大な空間。震災前は住宅や商店、水産加工場が立ち並んでいました。1920年に海上の様子を見るため築かれた日和山に登れば、公園はもちろん閑上一帯を見渡すことができます。
祈りの広場中央の慰靈碑は、「種の慰靈碑」から発芽した「芽生えの塔」が上へと伸びる姿を象徴。犠牲となつた方たちが天に昇つていくイメージであるとともに、市民の復興への決意が込められています。



DATA ◎宮城県名取市閑上東3丁目3-1 ☎公園に関して:022-384-2111(名取市建設部都市計画課公園係)、震災遺構に関して:022-382-6526(名取市観光物産協会) ¥無料 ☐駐車場あり ☐https://www.kankou.natori.miagi.jp/hisaihi/1366



閑上地区一帯を見渡せる日和山。震災直後から人々が鎮魂のために訪ねました。



成田峻之輔さん（東北大大学院工学研究科修士課程2年）の

避難誘導アドバルーン

土地勘がない人にも
津波から逃げる目印を

津波工学研究室に在籍する成田峻之輔さんの研究テーマは、津波発生時の安全な場所への避難誘導。命を救うのは迅速で適切な避難行動という観点から、土地勘がない人の逃げる方向の目印となるようアドバルーンを掲げて、避難場所を示すプロジェクトを進めています。

頭に浮かんだのは、地図アプリの目的地を示す赤いピンが津波避難ビルやタワーの上に見えるイメージ。「アナログな発想ですが、何のデバイスも持たない人でも一目で避難場所がわかります」。

当初はVR（仮想現実）空間上でアドバルーンを掲げた場合と掲げない場合を比較する研究のみを想定していた成

げる自信はないと痛感しました。頭に浮かんだのは、地図アプリの目的地を示す赤いピンが津波避難ビルやタワーの上に見えるイメージ。「アナログな発想ですが、何のデバイスも持たない人でも一目で避難場所がわかります」。

田さん。東北大大学主催のクラウドファンディングで研究資金50万円を確保。防災関連産業創出を支援する仙台市の補助金も得て、2023年2月、アドバルーンでどれだけの範囲の人々に避難を呼びかけられるかを実験しました。

場所は若林区藤塚の温泉複合施設『アクアイグニス仙台』。「つなみぼうさいじつけん」の垂れ幕を付けた直径2・2メートルの気球を屋上に係

留し、25メートルから45メートルまで高さを変えたり垂れ幕の質や文字を変えたりして、どれほど読み取れたか来場者にアンケートを取りました。「過半数がアドバルーンに気づけるのは掲揚地点から約500メートルの距離でしたが、条件が良ければ約1・5キロメートル離れた距離からでも認識できることがわかりました」。

「被災地である宮城で得たこと、体験したことを、南海トラフ地震などこれから津波被害が想定される地域の防災に生かしたい」と、成田さんは未来を見据えます。

実現に向けての課題

社会実装にはいくつかのハードルがあります。まずは、津波警報の受信後すみやかにバルーンを掲げる自動装置の開発。次に、風の影響。そして最大の課題はコスト面です。気球に注入するのは水素よりも、誘導の案内がわかりづらく、建物や観光客がいっぱい来て海がどの方角かもわからぬい。命の危険が迫るなかスマートフォンを使って調べる余裕はありません。津波から逃

れる逸話があつたりします。避難誘導アドバルーンは現代の狼煙となり、普遍的な「稻むらの火」となる可能性を秘めています。



実証実験をするにあたり「仙台市の屋外広告物許可申請を行うなど様々な手続きを行いました」と成田さん。



2023年2月に行ったアドバルーンの実証実験。アドバルーンの専門業者に依頼し制作した塩化ビニール製のもの。

それでも、視覚に訴えるこ

難行動を学んだ上で避難路を確認しようと思ったところ、誘導の案内がわかりづらく、建物や観光客がいっぱい来て海がどの方角かもわからぬい。命の危険が迫るなかスマートフォンを使って調べる余裕はありません。津波から逃

れる、誘導の案内がわかりづらく、建物や観光客がいっぱい来て海がどの方角かもわからぬい。命の危険が迫るなかスマートフォンを使って調べる余裕はありません。津波から逃

Baton

発行元

宮城県震災復興本部
(事務局:復興支援・伝承課)

〒980-8570

宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号
TEL:022-211-2443
FAX:022-263-9636

宮城県
Miyagi Prefectural Government

